事業番号 0001

平成２３年行政事業レビューシート （厚生労働省）

事業名	国際会議に必要な経費	担当部局庁	大臣官房	作成責任者
事業開始・終了（予定）年度	平成12年度	担当課室	国際課	藤井 康弘
会計区分	一般会計	施策名	－	
根拠法令（具体的な条項も記載）	厚生労働省組織令第25条 厚生労働省組織規則第5条	関係する計画、通知等	－	

事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）

医療･保健、雇用･社会福祉等、厚生労働行政の国際分野への展開を図るため、①国際機関を通じた活動、②対外経済交渉、③ASEANを中心とした開発途上国への協力とアジア諸国等との政策対話、④欧米先進国との協議、対話、⑤海外情報収集等を通じて、国際社会への貢献に寄与することを目的とする。

事業概要（5行程度以内。別添可）

①新型インフルエンザをはじめとする感染症対策や医薬品･食品、健康増進対策等の国際的取組、国際労働基準の設定･監視や世界的な雇用危機への対応等、国際機関の活動への積極的な参加、②経済活動のグローバル化に伴う二国間等の交渉が活発化する中、医療、サービス分野での的確な対応、③ASEAN等への技術協力やアジア諸国等との閣僚級会合の開催、④G8、G20の関係閣僚級会合、労働･社会保障分野での交流事業、⑤海外情報の収集、日本の政策情報の発信等の事業を行う。

実施方法

□直接実施　■業務委託等　□補助　□貸付　□その他

予算額・執行額（単位：百万円）

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
予算の状況	当初予算	156	67	246	101	90
	補正予算	0	0	0	0	
	繰越し等	0	0	0	0	
	計	156	67	246	101	90
執行額		145	59	235		
執行率（%）		92.9	88.1	95.5		

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値（　年度）
国際会議等の開催又は出席に必要な消耗品、印刷、通訳雇上等経費であり、成果目標･活動実績を設定することはできない。	成果実績		－	－	－	－
	達成度	%	－	－	－	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
－	活動実績		－	－	－	－
	（当初見込み）		－	－	（　－　）	（　－　）

単位当たりコスト　－　（円／　　）

算出根拠　－

平成23･24年度予算内訳

費　目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由
国際事務処理費	11	11	出席する国際会議や出張者数などの見直しによる。
国際会議等経費	84	73	
海外情報収集等経費	6	6	
計	101	90	

事業所管部局による点検			
	評 価	項　　目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	契約内容のほとんどが少額であるが、企画競争による契約もあり、競争性を確保した契約を行っている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	厚生労働行政の国際分野への展開を図るため、対外経済交渉や欧米先進国との協議、対話を通じて、国際社会への貢献に寄与できているものと思われる。		

予算監視・効率化チームの所見	
一部改善	本経費は、厚生労働行政を推進するための国際連携に必要な経費であり、執行の観点からも概ね妥当であるが、各々の事業の優先度を勘案し、効率化を図ることにより、予算を縮減すること。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）

○ 厚生労働省として、出席する国際会議や出張者数などの見直しを行い、経費の節減に努めた。　（△12千円）

補記 （過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）

—

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）

厚生労働省
246百万円

【委託・企画競争等（外部発注）】

A. 民間団体等（51）　34百万円

（内訳）上位9者

株式会社コングレ	5百万円
光洋商事株式会社	4百万円
株式会社サイマル・インターナショナル	2百万円
株式会社アイ・アソシエート・ジャパン	2百万円
株式会社太陽美術	2百万円
有限会社正陽印刷	1百万円
株式会社ホンヤク社	1百万円
株式会社ディグニティ	1百万円
株式会社エコム・ソリューションズ	1百万円

（厚生労働省組織令第25条に規定されている厚生労働省大臣官房国際課所掌業務の執行）

（※百万円以下については端数処理を行っている）

（うち事務費　28百万円）

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A. 株式会社コングレ

費 目	使 途	金 額（百万円）
人件費	ILOアジア太平洋地域会合事前準備等にかかる通訳等の人件費	2
雑役務費	ILOアジア太平洋地域会合事前準備等にかかるWebサイト作成等の雑役務費	2
計		4

B.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

C.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

D.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

E.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

F.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

G.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

H.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1	株式会社コングレ	第15回ILOアジア太平洋地域会合事前準備業務	5	随意契約	
2	光洋商事株式会社	翻訳業務	4	随意契約	
3	株式会社サイマル･インターナショナル	国際会議に係る通訳業務	2	随意契約	
4	株式会社アイ･アソシエート･ジャパン	翻訳業務	2	随意契約	
5	株式会社太陽美術	パンフレット等印刷・製本業務	2	随意契約	
6	有限会社正陽印刷	執務資料等印刷・製本業務	1	随意契約	
7	株式会社ホンヤク社	翻訳業務	1	随意契約	
8	株式会社ディグニティ	平成22年版厚生労働白書の翻訳業務	1	10	28%
9	株式会社エコム･ソリューションズ	海外用携帯電話の借上げ	1	随意契約	
10					